

2006年度

## 卒業・学年試験の実施について

法・経済・商・理工・文・総合政策学部

### 〔法・経済・商・文・総合政策学部〕

2006年度の卒業・学年試験を下記により実施します。受験するにあたっては下記の注意事項を熟読のうえ、手続き・届出等を行ってください。発表事項に関する変更及び実施に関する詳細は、所属学部の掲示板に掲載しますので十分注意してください。

#### 1. 試験期間および方法

- ① 外国語科目および教職科目

**後期授業最終週**

2006年12月19日(火)、12月22日(金)、

2007年1月10日(水)、1月11日(木)、1月13日(土)、1月15日(月)

- ② 後期終了科目および通年科目（外国語科目・教職科目を除く）

**卒業・学年試験期間**

1月20日(土)～2月2日(土)（予定）

**自然災害等の理由で試験日程を予備日に変更する場合がありますので、試験以外の予定を入れないように注意してください。**

- 〔注意〕
- ・原則として、上記のとおり実施しますが、科目によっては、繰り上げ(下げ)て実施したり、レポートあるいは平常点に変更する場合があります。詳細は、担任教員および各学部事務室掲示板、C-Plus等の指示に従ってください。
  - ・「卒業・学年試験期間」中は、**別途作成する試験時間割により実施**します。また、この期間の試験時間は、通常の授業時間とは異なりますので十分注意してください。他学部履修科目・FLP科目については、授業設置学部の掲示板等を参照してください。
  - ・資格課程履修者は**文学部掲示板**を参照してください。

#### 2. 試験時間割について

各学部ごとに**12月1日(金)に発表**予定です。

同一名称科目でも学科、開講曜日・時限及び担当者によって試験方法が異なる場合がありますので十分注意してください。

#### 3. 試験時間について

- ① 試験期間中〔1月20日(土)～2月2日(土)（予定）〕に実施する試験はすべて下記の時間で施行します。通常の授業時間割・時限とは異なりますので十分注意してください。

時 限	予 鈴	試験時間
1 時限	9 : 35	9 : 40～10 : 40
2 時限	10 : 50	10 : 55～11 : 55
3 時限	13 : 25	13 : 30～14 : 30
4 時限	14 : 40	14 : 45～15 : 45
5 時限	15 : 55	16 : 00～17 : 00
6 (夜1)時限	18 : 10	18 : 15～19 : 15
7 (夜2)時限	19 : 25	19 : 30～20 : 30

※時間に余裕をもって試験会場に到着するように心掛けてください。

- ② 授業時間中に実施する試験は、通常の授業時間割で行います。ただし、解答時間は原則として、外国語科目は45分、その他の科目は60分です。

#### 4. 受験資格について

- ① 本年度履修登録をした者で、受験できる科目は履修登録されている科目に限ります。
- ② 2006年度の学費を完納している者に限ります。

#### 5. 重複科目の届出について

試験時間割上、同一時限に受験科目が2科目以上重複する場合は、12月1日(金)～7日(休)の窓口受付時間内に所属学部事務室で学生証を提示のうえ重複試験受験の手続きを行ってください。

#### 6. 受験上の注意

- ① 受験できる科目は、本年度履修登録をしている科目に限られます（他の科目を受験したものは全て無効）。
- ② 受験する際は学生証を必ず持参し、通路側に提示しておいてください。  
学生証を忘れた者は、所属学部事務室で試験開始前に「仮受験票」発行の手続きをとってください。
- ③ 試験開始後30分以上遅刻した者は入場、受験できません。  
また、試験開始後30分以上経過しなければ退場することはできません。
- ④ 解答用紙には、学籍番号・氏名等の所定事項をペンまたはボールペンで書き、監督者の検印を受けてください。検印の無い答案は、無効となります。また、学籍番号は、学生証に記載してある11桁を正確に記入してください。
- ⑤ 〔法・経済・商・総合政策学部〕持ち込み、参照等を許可される科目については、掲示、C-Plus等で指示します。  
〔文学部〕持ち込み、参照等を許可される科目については、担当教員の指示に従ってください。
- ⑥ 筆記試験に代えてレポートを提出する科目の場合は、筆記試験に準じて扱いますが、詳細は担当教員及び各学部事務室掲示板、C-Plus等の指示に従ってください。

#### 7. 不正行為について

試験実施中は監督者の指示に従い、厳正な態度で受験してください。のぞき見や机への書き込み、カンニングペーパー・書き込みのある六法全書・不許可の参考書・ノート等の持ち込みおよびその他の不正行為を行った者は学則第52条に基づき、厳重に懲戒処分されます。

懲戒処分の内容は、行為の軽重に応じて訓告、停学または退学処分であり、懲戒処分を受けた

者の試験科目は、行為の軽重により次のように取り扱われます。

- ① 当該試験科目の無効
- ② 当該試験期の全試験科目の無効
- ③ 当該学年度の全試験科目の無効

不正行為を行った者については、処分が決定した場合、本人及び保証人に通知するとともに、処分の軽重に拘わらず直ちに学内に公示します。

## 8. 試験中に机の上に出せる物・出せない物について

【出せる物】

- ①鉛筆またはシャープペンシル
- ②ボールペンまたは万年筆
- ③消しゴム
- ④学生証
- ⑤時計
- ⑥許可された持ち込み参照物

上記以外の物は机に出すことを認めませんが、特に下記の物に注意してください。

【出せない物】

- ①携帯電話（時計代わりの使用も認められません。）
- ②筆入れ（筆記用具は筆入れから出して使用してください。）
- ③飲食物（特にジュース等のペットボトル・缶・紙コップ）
- ④定期入れ、財布

## 9. 自習室の開設について

卒業・学年試験期間中、7205号教室を自習室として開放しますので、利用してください。

## 10. 追試験について

2月5日(月)～7日(水)

詳細は学部によって異なりますので、所属学部の掲示板、C-Plus等を参照してください。

## 11. 試験結果について

- ① 4年次生以上は、3月上旬（商学部は2月下旬）に成績発表を行います。
- ② 1・2・3年次生は3月中旬から下旬に成績発表を行います。なお、詳細は所属学部の掲示、C-Plus等で確認してください。

# 理工学部

卒業試験・学年試験の日程および注意事項については、12月上旬に発表する試験時間割および掲示を参照してください。